

令和5(2023)年12月14日(木)

照会先:保健医療部 感染症対策課 疫学グループ
担当:課長補佐 大芦 隆広
連絡先:029-301-3233(内線:3280)

インフルエンザの流行警報発令について

本県において、県内全域に「インフルエンザの流行警報」を発令しましたのでお知らせいたします。県民の皆様には、「手洗いの励行」、「咳エチケットの実践」、「予防接種」等の感染拡大防止へのご協力をお願いいたします。

■インフルエンザ流行情報

本県における2023年第49週（2023年12月4日～12月10日）のインフルエンザ定点当たりの患者報告数が警報レベルである30を超え、32.07（前週は21.88）となり、本日、県内全域に「インフルエンザの流行警報」を発令しました。

【インフルエンザ流行情報（2023-2024 シーズン）】（県内）※毎週木曜日に更新

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/influenza/2023-2024.html>

【インフルエンザに関する報道発表資料（2023/2024シーズン）】（全国）※毎週金曜日に更新

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou01/houdou_00014.html

《各保健所管内のインフルエンザ流行状況》

値は速報値です。今後数値に若干の変更が生じる場合があります。

保健所	定点数	調査期間：R5. 12. 4～12. 10（第49週）		備考
		患者数	定点当たりの患者報告数※	
中央	5	38	7.60	
ひたちなか	16	455	28.44	注意報レベル
日立	11	501	45.55	警報レベル
潮来	13	385	29.62	注意報レベル
竜ヶ崎	16	520	32.50	警報レベル
土浦	11	523	47.55	警報レベル
つくば	15	512	34.13	警報レベル
筑西	11	251	22.82	注意報レベル
古河	10	257	25.70	注意報レベル
水戸市	12	406	33.83	警報レベル
県全体	120	3848	32.07	警報レベル

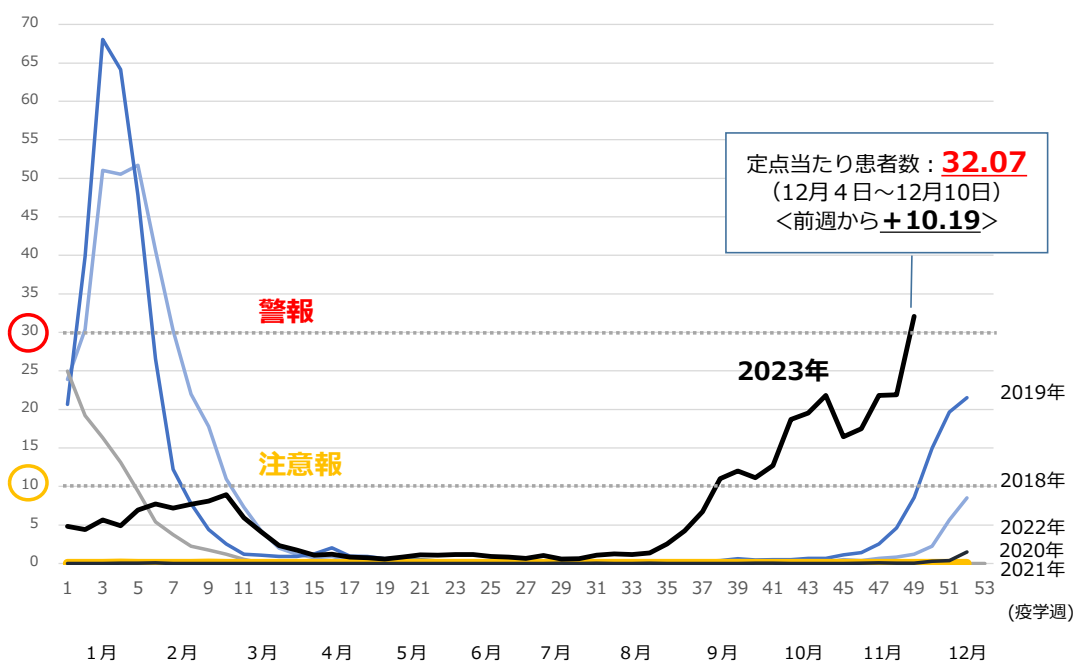
※ インフルエンザ定点当たりの患者報告数は、1定点当たり1週間の平均患者数

インフルエンザの
定点当たりの患者報告数

=

インフルエンザ定点において1週間にインフルエンザと診断した患者数
インフルエンザ定点数(県内に120医療機関[2023年12月14日時点])

定点当たりの季節性インフルエンザ患者数（茨城県内5年間分）



インフルエンザの流行に関する警報・注意報について

- 注意報レベル**：基準値は1週間の定点当たりの患者報告数が10以上。
流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、
流行発生後であれば流行が継続していると疑われることを示します。
- 警報レベル**：1週間の定点当たりの患者報告数が30以上で開始。
大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。
警報の解除は終息基準値（10）を下回ったときになります。

●過去シーズンの警報発令時期

シーズン	2018-2019	2019-2020	2020-2021	2021-2022	2022-2023	2023-2024
警報 発令週数	第2週 (2019/1/7~1/13)	なし	なし	なし	なし	第49週 (2023/12/4~12/10)

備考

インフルエンザの予防について

◆ インフルエンザの感染予防のポイント

【インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の予防方法は変わりません！】

☆予防接種

☆外出時の手洗い等

- ・手にウイルスがついたままにしないことが大切です
- ・アルコール製剤による手指衛生も効果があります

☆適度な湿度の保持

- ・室内では、加湿器などを使って乾燥を防ぎましょう

☆十分な休養とバランスのとれた栄養摂取

- ・体の抵抗力を高めるため、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を日ごろから心がけましょう

☆人混みや繁華街への外出を控えましょう

- ・人混みに入る可能性がある場合には、マスクを着用し、飛沫感染を防止しましょう

☆室内ではこまめに換気をしましょう

- ・十分な換気が重要です
- ・一般家庭でも、換気扇により、室温を大きく変動させることなく、換気を出来ます



【厚生労働省ポスター】

「みんなで予防 インフルエンザ」

◆ インフルエンザにかかった場合の対応

- ・咳やくしゃみ等の症状がある時は、家族や周りの方へうつさないように、飛沫感染対策としての咳エチケットを徹底しましょう。
- ・安静にして、休養をとりましょう。特に、睡眠を十分にとることが大切です。
- ・水分を十分に補給しましょう。お茶やスープなど飲みたいもので結構です。
- ・高熱が続く、呼吸が苦しい、意識状態がおかしいなど具合が悪ければ早めに医療機関を受診しましょう。
- ・一般的に、インフルエンザを発症してから3～7日間はウイルスを排出すると言われていいますので、その間は外出を控えましょう。